



2018.07.31発行 No.3

# 社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 女性技術者委員会 ニュースレター

以下に、平成29年5月と平成29年11月に実施した、企業向け・個人向け（女性）アンケートの集計結果をご報告いたします。

## ◆実施概要

女性技術者の現状・課題、WLBの取組み状況等の把握を主な目的として、企業・個人を対象にアンケートを実施しました。

## ◆企業向けアンケートのご報告（アンケート結果の一部）

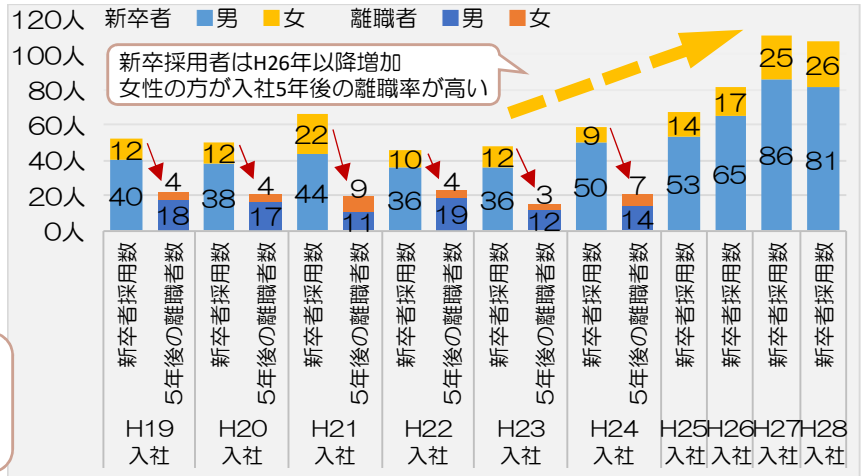
実施期間：平成29年5月22日～平成29年6月9日

回収数：74社（146社を対象に実施 →回収率51%）

Q3.H29年4月1日現在の九州内に勤続している従業員数は？

Q4.貴社の新卒者採用数、入社5年後の離職者数は？

	役員		技術部門			
	男	女	一般社員		契約社員	
			男	女	男	女
福岡県	139	12	1652	169	197	122
佐賀県	14	0	110	14	3	0
長崎県	3	0	89	6	17	1
熊本県	12	2	137	11	6	7
大分県	45	5	266	24	11	16
鹿児島県	19	2	187	24	12	7
宮崎県	24	6	116	11	6	2
沖縄県	0	0	24	0	14	0
合計	256	27	2581	259	266	155



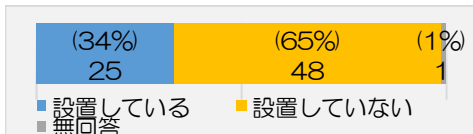
九州内に勤続している女性技術者は441名/74社  
その内、女性の役員は27名（男女比27/283=10%）  
技術部門一般社員は 259名（男女比259/2840=9%）  
技術部門契約社員は 155名（男女比155/421=37%）  
役員・技術部門一般職の女性は約1割と少ない

Q6-(1).女性の活躍について、企業としての取組みを実施してる？



約8割の企業が女性活躍の取組みを実施。  
その企業の取組み内容とは…  
・残業削減（働き方の見直し）  
・仕事と家庭の両立できる制度  
・母性保護に関する制度の充実

Q8-(1).ワーク・ライフ・バランスを推進する部署、委員会、WG等を設置している？



約3割がWLB推進部署を設置。  
（内訳は委員会が最も多い）  
★自由回答で「新たなWLBの取組みを、  
企業単独で実施する事は困難だ」が多数。

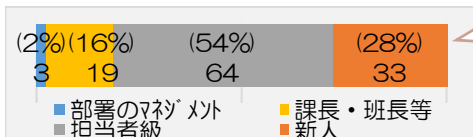


## ◆個人向けアンケートのご報告（アンケート結果の一部）

実施期間：平成29年11月1日～平成29年12月11日

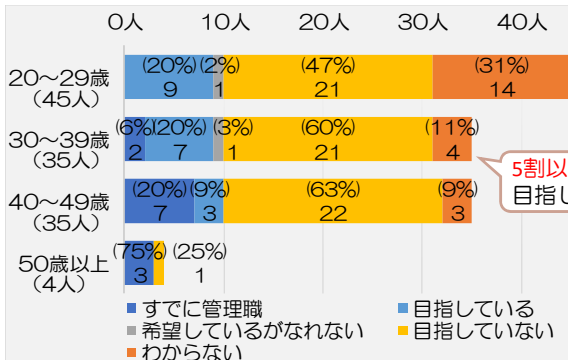
回収数：119人（女性技術者を対象に実施）

I-9.職場でのポジションは？



回答者119人中、  
管理職は2割  
担当者・新人が8割

II-9.管理職を目指している？

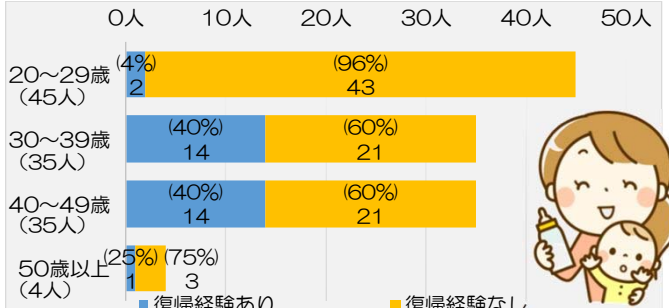


5割以上が管理職を  
目指していない

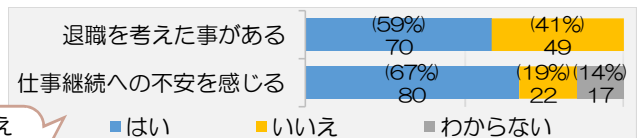


6割が退職を考えた  
ことがあり、  
7割が仕事継続に  
不安を感じている

I-10.出産等による休職後に職場復帰した経験は？

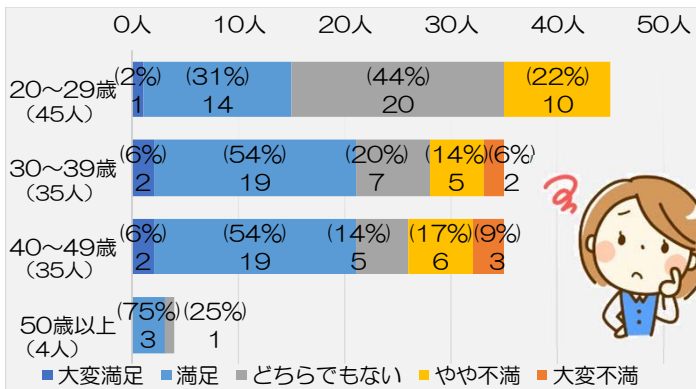


II-5.退職を考えたことがある？仕事継続への不安を感じる？



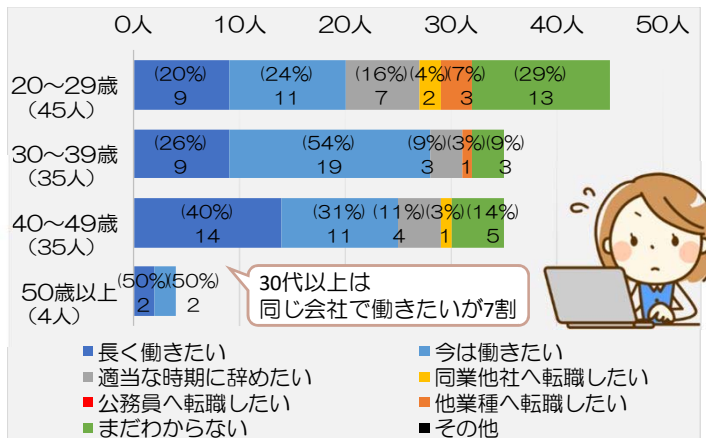
退職を考えた理由・仕事継続への不安要素  
1位：体力的・精神的な負担  
2位：労働環境（長時間労働、人間関係の悪化）  
3位：WLB（家庭やプライベートとの両立が困難）

## II-1.現在の仕事に満足？



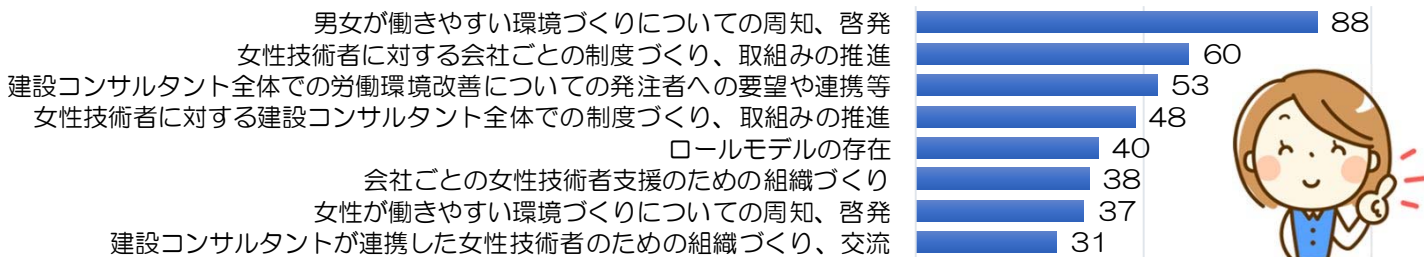
大変満足・満足が全体の5割、やや不満・不満が全体の2割

## II-3.同じ会社で長く働きたい？



30代以上は同じ会社で働きたいが7割

## V-1.女性技術者が働きやすい環境づくりのために必要なことは？



## ◆女性技術者アンケート 結果概要 (まとめ)

働きやすい環境づくりのために建コン協に期待している事は、「男女が働きやすい環境づくりの周知と啓発」「WLBの推進」、また官民での対応が必要な項目として、「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が挙げられた

### ①現状・問題点

- 役員・技術部門一般職のうち、女性は1割程度と少ない
- 新卒採用は平成26年以降急増。入社5年後の離職者数は5割以上。男性より女性の方が離職率が高い。
- 8割の企業が女性活躍の取組みを実施。「残業削減」「仕事と家庭を両立できる制度」「母性保護に関する制度」が多い
- WLB推進部署の設置や管理職へのWLB研修を実施している企業は約2~3割と少ない
- 新たなWLBの取組みを、企業単独で実施する事が困難な企業が多い
- 5割以上が管理職を目指していない。理由は「WLBが困難」が多い
- 7割が仕事継続への不安を感じており、年齢が高くなるにつれ割合が増加。理由は「体力・精神的な負担」が多い
- 20代は、辞職・転職・就職継続不明の回答割合が高いが、30代以上は、同じ会社で働き続けたい人が7割以上を占める
- 働きやすい環境づくりに官民での対応が必要なことは「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が多い

### ②課題

- 若手女性技術者の建コン離れ抑制
- 女性技術者の「体力・精神的な負担」軽減、労働環境の改善
- WLBの更なる推進
- 発注者との調整・協議による工期分散、労働環境改善の実現

### ③課題・要望から見た今後必要な取組み

- 今後整備・改善してほしい項目として、連続休暇、リフレッシュ休暇、短時間勤務、子供の介護休暇を希望する人が多い。
- 女性技術者が働きやすい環境づくりのために必要な取組みは、出産育児等の「母性保護に関する制度の充実」が最も多く、「仕事と家事を両立できる制度」や「残業の削減」と続く。
- 働きやすい職場を作るために、各種制度の充実、残業削減、WLBの推進に関して更なる協力要請します
- 各社で女性活躍の取組み状況に温度差があるため、建コン協会に期待することは「男女が働きやすい環境づくりの周知、啓発」が最も多く、「WLBの推進」「女性技術者の紹介、情報発信」と続く。
- 働きやすい環境を作るために、企業や女性技術者へさまざまな情報を発信し、職場環境づくりの必要性を周知・啓発します
- 官民での対応が必要なことは「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が多かった。
- 工期分散や労働環境改善に向け、官民相互の理解と協力を求めます

アンケートの結果は、まもなく開設する女性技術者委員会ホームページにて閲覧できます

## ◆「第2回女性技術者交流会」のご案内

- テーマ : 私らしい働き方をするために「めざせ! ダイバーシティ...?」
- 日時 : 2018年9月21日(金) 14:00~17:30 場所: ホテルレオパレス博多 会費: 無料
- 主な内容 : 女性技術者による「わたしの働き方」の紹介、参加者全員による意見交換
- 応募方法 : JCCA九州支部から各社へ申込書をご案内申し上げます (今回も女性限定60名程度の予定です)

本誌は、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部 総務・企画部会 女性技術者委員会が発行しています。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目13-9 (博多駅東113ビル8階)

TEL 092-434-4340 FAX 092-434-4342 Facebookページ: 女性技術者委員会 (建コン協九州支部) @kirapro.kyu